

平成28年12月16日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

アルコ236及び道の駅・忠類の
指定管理に関する特別委員会

委員長 藤原 孟

アルコ236及び道の駅・忠類の指定管理に関する
特別委員会報告書

平成28年11月30日、本委員会に付託された事件を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 委員会開催日

平成28年11月30日、12月2日、9日、13日（4日間）

2 審査事件

議案第109号 指定管理者の指定について

3 審査の経過

審査にあたっては、忠類地域の中核施設である「アルコ236及び道の駅・忠類」の指定管理について、地域における意義や今後に向けた事業計画、資金計画、さらには、アルコ236の運営業務委託先との関係等について説明がなされた。

委員会では、指定管理料の積算内容や今後の収支見通しのほか、改善策、一時金の貸付等について質疑が行われ、慎重に審議した結果、全会一致で結論をみた。

4 審査の結果

原案を「可」とすべきものと決した。

5 委員会の意見

アルコ236及び道の駅・忠類の運営に関しては、町の懸案の一つと捉え、町議会において、「忠類地域の振興、活性化」について、総務文教、民生、産業建設の3つの常任委員会合同により所管事務調査を行ってきた。

今定例会に、議案第 109 号において、株式会社忠類振興公社を指定管理者とし、今後 5 年間の指定管理料の限度額を 1 億 4,800 万円（税抜き）とする提案があり、議会は特別委員会を設置し、審査を行ってきたところである。

多額の指定管理料となることは、町の財政に大きな負担となることが懸念され、町民の多くも不安に思うところであり、審査の中でも指定管理料を少しでも少なくすべきとの意見等が出された。

株式会社忠類振興公社は、民間企業と連携することにより経営改善を図ることを提案しているが、経営が大幅に改善された場合は、指定管理料に反映されるよう協定内容に考慮することを町に求めるものである。

また、指定管理の実施に当たっては、町として事業が適正に行われているかどうかの評価を行い、その内容を議会に報告するよう求めるものである。